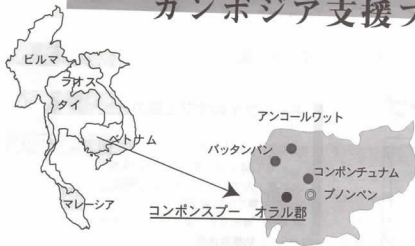


# カンボジア支援プロジェクト



たくさんの牛と豚をありがとう  
オークン!

- 帰還難民支援から 長期的な教育支援へ
- コンボンチュナムから コンボンスプーオラル郡へ

カンボジアでは、1993年に国連の監視下で実施された選挙に次く選挙が行われようとしています。この間の民主化が問われることとなります。

私たちが1994年から参加し、協力した牛の支給プロジェクトは、選挙に先立ってタイ国境の難民キャンプから、国に帰還した人々と村の貧しい人たちが生活をするためには、農耕用の牛がなくてはならないという要請にこたえて始められました。

帰還後の混乱期も過ぎ、コンボンチュナムでの牛の数も多くなり、子牛も2年に1頭の比率で誕生しますので、牛の管理の責任団体であるカンボジア女性協会と去る2月に協議し、牛の支給プ

プロジェクトを終えることにいたしました。

現在まで、1頭2万円の申し込みに個人として応えてくださった件数は185件、カンボジアの方の201家族の写真をお送りいたしました。他に団体として、学校のクラスとして支援して下さったものに、郵政省国際ボランティア貯金からの支援を加えますと約400頭を支援したことになります。

みなさまからのメッセージは、私たちにとりましても大変励みになりました。また、昨年は豚の銀行の支援を行い、83頭を支給いたしました。

4年間にわたるご協力ありがとうございました。

## 新プロジェクト

カンボジア最貧地域に小学校を!

LWFが総合地域開発に携わっている地域の一つが、ブノンベンの西南のコンボンスプー省です。そのなかで取分人里はなれ、1996年ポルポト兵の没跡まで危険地帯と見なされていたのが、オラル郡です。30年の戦いの結果、一つの学校も存在しないほどに放棄されています。昨年の省の調査では、5千人の学齢時児童が小学校にゆけず、省には資金もなく何の手立てもなされていません。

今年から数年の計画で、村びとの労働奉仕により安徳な手作りの小学校を3つの地域に3校つくり、11人の先生を訓練するプロジェクトを計画しています。これで470人子どもが小学校で学べます。

予算：260万円  
ご支援ください。



くすびけた学校  
でも  
学校があるだけでも幸せ

## わかちあいプロジェクト募金

- カクマ、キポンド難民
- カンボジア小学校建設・運営
- タイ山岳民コーヒー生産組合
- エリトリアコンピュータ学校

### Networking Information

#### わかちあいプロジェクト例会

8月を除く毎月第3火曜日に聖パウロ教会集会室で行っています。お気軽にご参加ください。歓迎いたします。

◎わかちあい・オンライン!

コーヒー、紅茶の注文メール、ホームページで可能

電子メール: QWA03157@niftyserve.or.jp

Homepage: <http://www.big.or.jp/~wakaitai/>

#### ◎エリテリア派遣看護婦

●赴任時期: 1998年6月以降1~2年間  
(赴任時期と期間は応募者と相談の上、決定する)

●応募締切: 1998年6月末

●資格、条件: 看護婦資格を有するもの(特に小児科の看護婦)/英語で意思疎通ができること/キリスト者

●応募条件: 住居、食費、病院側負担航空運賃、保険など主催団体もち

#### ◎LWF世界奉仕団 カンボジア事務所代表

1979年、ポルポト追放後の初期の混乱期から、国の復興と人々の支援を行っています。現在は、農村部で総合的な開発に取り組んでいます。赴任は12月、最初の任期は2年、延長も可

#### ◎ACT(Action by Church Together)会計担当者

ACTは数年前に、LWFとWCC(世界教会協議会)が協力して、世界で起こる緊急援助に取り組みために組織されました。赴任は9月または10月、任地はジュネーブ

#### ◎WFPI北朝鮮の食糧援助監視員

北朝鮮の食糧危機は、改善の方向にはなくさらに悪化がすすみ深刻な状況にあります。WFPIは国連機関と話し食糧援助をすすめています。支援された食糧が確かに届入っていることたちに届いたかどうかモニターするスタッフを求めています。

#### Lutheran World Federation

LWF(ルーテル世界連盟)は、一九四七年にスウェーデンのランドで創設されたルーテル教会(マルチン・ルターの宗教改革から誕生したプロテスタント教会)の組織で、現在、世界68ヶ国、122教会(信徒5千6百万人)が加盟している。宣教と開発、神学と研究開発、世界奉仕団の三部門から構成され、世界奉仕団(LWFあるいはLWSと略称される)は、緊急援助や開発援助を必要とする人々への奉仕を行っている。  
アジア方4ヶ国、アジア5ヶ国、ラテンアメリカ4ヶ国それぞれにコアオフィス、ロシアの25ヶ国に現地事務所を持ち、毎年、約100億円の援助活動を行っている。LWFは、カクマ、キポンドの難民にも関わった歴史があり、現在、キャンプ運営の主体的な役割を果している。具体的には、生活物資の配給やソーシャル・サービス、保健衛生、水道、トイレ、住居の整備、さらに施設の新築、維持まで、多岐にわたる援助活動を行っている。

### ◎1998年 募金目的と目標

- カクマ難民救済 300万円  
図書館建設、トラック購入費用  
ワークキャンプ経費用
- 古着などのコンテンツ費用 100万円
- カンボジア小学校建設 250万円
- タイ山岳民族自立支援 200万円
- エリトリア職業訓練校支援 50万円

募金目標額 900万円

募金送金先 郵便振替口座  
わかちあいプロジェクト募金  
00130-7-762258

### ◎ワークキャンプ 参加者募集

日時: 1998年7月26日~9月1日

募集人数: 7から8名

場所: ケーヤ、カクマ難民キャンプ

費用: 29万円

条件: 18才以上135才までの健康な青年  
片言でも英語が話せること。難民キャンプの  
ための募金活動に協力する用意のある人

内容: 図書館建設のワークキャンプおよび

キャンプ活動の研修

締切: 1998年6月9日

応募方法: 参加動機を原簿用紙4、5枚に

まとめて、簡単な履歴書とともに郵送すること

選考: 書類選考の後、7時に面接して決定

6月16日午後7時に面接して決定

タンザニア、ブルンジ難民キャンプでの研修

日時、期間: 8月を含む3ヶ月以上

募集人数: 1ないし2名

費用: 航空運賃、保険などは本人負担(約35万円)

食事、住居は主催者側負担

選考: 参加動機に関する作文と履歴書を添えて

申し込む面談の上決定

主催: わかちあいプロジェクト

TEL: 03-3634-7809

発行所 わかちあいプロジェクト 130-0022 1 東京都墨田区江東橋5-3-1 聖パウロ教会内 電話: 03-3634-7809 FAX: 03-3634-7808  
編集者 松本 健 郵便振替口座: わかちあいプロジェクト募金 00130-7-762258 (募金用)